

すずか税のたより

第129号
平成27年11月発行

「すずか税のたより」は鈴鹿税務連絡協議会のホームページに掲載しています。

主催

鈴鹿納税貯蓄組合
連合会(習字・作文)
公益社団法人鈴鹿法人会
(絵はがき)
鈴鹿間税会(標語)
鈴鹿税務署(作文)

平成27年度 応募状況

作文

167編

習字

1,359点

絵はがき

1,172点

標語

2,927点



鈴鹿税務署長賞

亀山市立井田川小学校 6年 後藤 真弥

小学生の絵はがきコンクール

小学生の税に関する習字

税金は 明日をむかえる 力なり

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 道山 晃弥

鈴鹿税務署長賞

中学生の税の標語

玉垣小 六年 日紫喜 諒香
教租 育税

鈴鹿市立玉垣小学校 6年 日紫喜 諒香

鈴鹿税務署長賞

神辺小 六年 藤善 ほほか
教租 育税

亀山市立神辺小学校 6年 藤善 ほほか

三重県教育委員会賞

中学生の税についての作文

三重県教育委員会賞

「税金に感謝」

鈴鹿市立平田野中学校

3年 森 怜実

税金についてよく分からないという人は世の中にたくさんいるでしょう。私もその一人でした。「消費税が上がるのは嫌だ!」「いつもは100円で買っていた物が108円も支払わなくてはいけないし。」と思っていました。しかし、この作文を書くにあたってインターネットで調べてみたところ、税金のいろいろな役割を知ることができました。

例えば1000円のノートを買うとします。その中に消費税がふくまれています。また会社が父に支払う給料の中から、税金を差し引いています。このように集めた税金を何に使っているのか不思議になりました。そして身近なことに使われていたので驚きました。顔を洗ったり、歯をみがいたり、お風呂やトイレを使うことができるのも、税金のおかげだそうです。また、道路を整備するにも税金が使われています。私が蛇口をひねったら毎日当たり前のように水が出て、安全に学校に登校できるのも税金があるからこそなのだ実感しました。

この前、ふとテレビをつけたらデンマークのことを放送していました。デンマークの消費税は、日本の五倍の二十五パーセントだそうです。国民も怒っているだろうと思つたらなんと「国民の幸福度ランキング」世界一位です。医療費も教育費も無料で、出産も無料です。そして十八歳以上の学生は国から生活費がもらえるそうです。このように税金が国民の生活を支えていることが分かりました。最初は税金と聞くとあまりいいイメージではなかったのを、デンマークの税金が私の考えをくつがえしてくれました。日本でも税金がいつも私たちの生活を便利に支えてくれています。例えば、中学校に無料で通えていることについてです。私は最近までお金を払っていると思っていました。無料の教科書を使い、無料で授業を受けることができ、先生に勉強を教えてもらっていると知り、心から幸せな気持ちになりました。もちろんそのお金は私たちが払う税金です。しかし、学校に行くことで授業を受ける以外にも友達と助け合ったり楽しく話したり笑い合うことができます。学校は勉強以外にも社会に出てから役に立つたくさんの方に大きなことを学べる所でもあります。そのような所に通えることに感謝していきたいです。

これから大人になって今まで以上に税金に関わって生きていくと思います。消費税が高くなっても、この作文で書いたことを思い出したいと思います。そして、税金があるからこそ私たちは健康に安全に楽しく過ごせていることを忘れません。

鈴鹿税務署長賞

税金について

亀山市立亀山中学校

2年 長田 菜優

私ははつきり言って、税金と聞いて良いイメージを持ったことがありませんでした。なぜなら、税金は「取られる」や「高い」というイメージが強いからです。しかし、私たちの暮らしは、私たち個人や企業などが納める税金によって成り立っています。

私たちが納めた税金は、国民の「健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動のお金のもととなるのです。私たちは一人では決して生きていくことはできません。なので、税は私たちが生活していくためのいわば「会費」と言えるでしょう。

税金の主な役割は、国や地方自治体の経費を調達することです。それ以外にも、富の再配分・景気調整・経済政策の推進・国内産業の保護などがあります。

税金は、大きく別けて二種類あります。ひとつは、納税者が直接税務署等に納める「直接税」、もうひとつは、納税者が間接的に納める「間接税」です。そして税金は、国に納める税二十三種、県に納める税十三種、市町村に納める税十三種と計四十八種できています。今の私に一番近い税金は消費税です。消費税とは、国に納める間接税で、特定の物品やサービスに課税する個別間接税とは異なり、

消費に広く公平に負担を求めるものです。消費税などの税金は、社会保障や国債、地方交付税などのことに使われています。ここでピックアップしたいのが、社会保障と国債です。社会保障というのは、働けなくなった人や六十五歳を過ぎたら国から貰える年金など、働けない人を守るための仕組みです。国債というのは、かかるお金に対して税金が足りないときに誰かからお金を借りる為の国の借金のことです。今問題になっているのは、税金が足りなくなつて国債という国の借金がどんどん増えてきていることです。なぜ税金が足りなくなつてきているのかというと、高齢化社会が関係しているからです。高齢化社会になるにつれて、働いて税金を納める人より、老人ホームや年金などでお金が必要となる人の方が、多くなつてしまうのです。当然お金は足りなくなる一方です。現在国が一時的にとつている方法は、国債の発行、つまり国の借金を増やしているのです。そうするにつれて、国債の信用がなくなり、国民が国にお金を貸してくれなくなり、国債から、借金を増やす以外の方法で国の収入を増やす方法が消費税増税なのです。

これからのことを知って私は、税金の増税は仕方ないことだつたんだなと、初めて思いました。そして少しでも増税を抑えるために、税金の無駄遣いをやめてほしいと思います。今まで税について全く知らなかったけれど、この作文を書くため、税を調べるにつれて税はとても大切だと思ひ、興味をもつことができました。

鈴鹿税務推進協議会長賞

税金について

亀山市立亀山中学校

2年 宮崎 桃衣

よく「税金」という言葉を耳にします。つい最近も母が車の見積もりを見ながら「5%と8%だいぶ違うよね」と祖母と話しているのを聞きました。働く事で稼ぎを得てない私自身、買い物をした時に払う消費税や、土地や家にかかる固定資産税など聞いた事はあっても支払った税金がどこでどのようなに使われているのか、なぜ支払わなければいけないのかも深く考えた事はないし、具体的によくわかりません。

税に関する身近な所で言えば、身体障害者である祖父が車を購入する際消費税や取得税が免除されるという事くらいです。

先日、警察の取締りに密着する番組をみた際に飲酒運転で取り締まりを受けた人が「自分たちが払ってる税金で給料をもらっているんだから！見逃せ！税金泥棒！」と怒鳴り散らしている場面がありました。その場面をみて「税金泥棒？」っと不思議に思い、支払われた税金が何に使われているのか調べてみました。「これも、税金から出ているんだ」と思う事が沢山ありました。私の生活している中にも、道路工事や学校の修繕、国家公務員のお給料、

テレビでいまだに耳にする復興支援などです。もちろんそれだけでは、ないのでしようが国民が安全に生活するために使われたり、働いて収入を得られない人を助けたりと、税金はお互いが助け合ったり安全に生活するために使われているのだという事を知り、必要なのだとわかりました。母が勤める「保険会社」も同じです。みんなから集めた保険料で亡くなったり、病気になるた人に給付金を支払います。以前、保険の仕組みについて聞いた時「へえ、すごいね。困った時、助かるね。じゃあ沢山の人が保険に入ったら沢山の人が助かるんだね」と母にいった事を覚えています。税金も同じで、みんなが沢山支払えば色んな事に税金を使う事ができます。しかし、沢山の収入を得て十分な税金を納める事ができる人もいれば、職につけずに税金を支払えない所か、生活そのものをやっていけない人もいます。国民が安全に生活していくのに必要な色々な事に税金が必要だからといってただ集めれば良いというものでもない様におもいます。払いたくても払えない人に「払え」と言うだけでなく働き口を支援するなど「そこは各自自治体で」と押し付けるのではなく、国としてもっと支援していくことも大切な仕事だとおもいます。

いずれ私も働いて収入を得る様になり税金を納める様になります。その時は「これが誰かの役に立つ」と思い税金を支払っていききたいとおもいます。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

震災や災害から復興するために

鈴鹿市立平田野中学校

3年 鈴木 朋花

私は、消費税が八パーセントに上がったから、百円ショップで買い物をしたときにめんどろだなどと思ったことがある。それは、今までのいい一〇五円でよかったのが、一〇八円という中途半端な値段になってしまったことだ。でも、その三円のちがいがこれからの私たちに、大きく役に立つものだった。

私がなぜこのテーマを選んだかというと、だれでも身近に起こる可能性のあるものだと思ったからだ。実際に、各地で地震などがおきたりしている。

今までも税金が学校の建設費や教科書代に当てられているのは知っていた。でもこれまで五パーセントでやっていていたから、わざわざ増税する必要はないと思っていた。

では、なぜ増税する必要があるのか。私は詳しく知りたいと思ひ、市役所へ行ってみることにした。

市役所へ行ってみると、たくさん資料があった。まず、震災や災害が起きたときに必要なお金について調べてみた。災害などのときに当てられる費用のことを「災害復旧費」ということがわかった。災害復旧費はおもに、災害時に公共

的な施設の機能を回復させるのに使われる。私がおもひ、災害にまきこまれて、近くの学校や公民館などに避難することになっても安心だと思ひた。

そして、東日本大震災からの復興のための費用として「復興特別金」というのもできたこと知った。その費用は復興に大きく役立ったと思う。

このことから、税金はほんの一部であるかもしれないが、人の役に立つ使われ方をしていることがわかった。増税することは必要ないと思ひていたが、自分たちの未来のため、生活のためになつていると考えると「税金」というものがなくてはならない存在であると考え方が変わった。

調べてみたこと、感じたことから、増税することにはちゃんと意味があり、陰ながらも私たちを支えてくれているのだとわかった。だから、税金は絶対に必要だと思ひ。

この経験を通して、自分がしなければならぬことを考えてみた。私は、税金の仕組みや、使われ方について、まだまだ知らないことがたくさんある。実際に資料を見ていてもわからない言葉がたくさんあった。だから、もっと深く調べてみるべきだと思ひ。そうすることによって、これからの生活の仕方も変わると思ひ、さらに興味があわくはずだ。きっと未来の自分に何かプラスになるだろう。

これからは、身の回りにある「税金」の使われ方から調べていこうと思ひ。日々生活していく中で、「税金」は大切だということをおもひたい。

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

「税」と人々の思い

学校法人 鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校
1年 丸山 千春

道路の整備や公共の施設、公務員の
件費など税金の使い道は様々です。税金
によってよりよい生活が築かれています。
二〇一四年四月には消費税が増税され、
五パーセントから八パーセントになりま
した。これには賛否がありました。経済
的には、必要といわれていますが、消費
者にとっては生活に影響があります。私
は増税に対して初めは反対でした。これ
までの税金でも負担があったのに、さら
に、負担が増すからです。しかし、財政
的視座から考えると増税の理由も分かる
気がしました。そして、二〇一六年四月
には、税金が十パーセントへと上がりま
す。百円だと十円、もっと大きく言う
と家を買って一千万円すると税金が百万円
もかかるのです。そう考えると、十パー
セントになるとはとても大きいことだと
思います。

「少子高齢化」これは、財政的にも問
題になると思います。少子高齢化とは、
子どもの出生が減り、高齢者が増えるこ
とです。では、この少子高齢化と税との
関わりは、税の負担についてです。税の
負担をする若者は減り、負担される側の
高齢者は増える。これは、財政的問題で
す。現在では一人の高齢者を二・一人で
支えています。また、二〇年後には一・
六人で支えることとなります。年が増え
るにつれて、負担する側の人数は減り続
けるのです。このままではこの問題以外
にも介護放棄なども増えていくと思いま
す。

「税の重み」それは、やはり、とても
大きいものであると気づきました。また、
「税」は国民の気持ちが集まったものだ
と思います。国民は、国のためにお金と
いう形で希望をたくし、納税します。そ
の気持ちがかもった「税」は私達の生活
をよりよくされているのでしょうか。

私は道路の整備をしている所を見たこ
とがあります。しかし、その道路整備は
もう何年もされています。もちろん、そ
れには理由があるかもしれません。しか
し、本当に国民のためを思っているのだ
あれば、もっと早く整備が終わるのでは
ないでしょうか。「税」を大切に使用わ
ないと思います。

私は、税が足りないといって増税する
のもひとつの手だとは思いますが。しか
し、そうすると、必ず財政をより良くしな
くてはいけません。お金として、
国民は国に気持ちを預けているからです。
税の使い道をしっかりと正し、見直す
のもひとつの方法だと思います。余分な
税の使い道はないかなどです。そうする
一つ一つの見直しが必要だと思います。

私も日本国民の一人として、この「日
本」がすばらしいものになってほしいと
思っています。「税」にこめた国民の気持
ちを大切にしてこれからもよりよい日本
を目指してほしいです。

中学生の税についての作文入選者

(敬称略)

鈴鹿納税貯蓄組合連合会											鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞	鈴鹿納税貯蓄組合協議会長賞	鈴鹿納税貯蓄推進協議会長賞	鈴鹿市立平田野中学校	三重県教育委員会賞	賞区分
佳作		銅賞			銀賞		金賞		学校名	学年						
井口春奈	山中一真	楠井溪太	福森紫苑	増田桜子	花井咲月	中根英里子	福井伯都	波田真穂			田中愛梨	菅原のこ	丸山千春	鈴木朋花	宮崎桃衣	長田茉優
2	2	2	2	3	3	2	3	2	3	2	1	3	2	2	3	
亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立中部中学校	鈴鹿市立平田野中学校	亀山市立亀山中学校	学校法人 鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校	鈴鹿市立平田野中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	鈴鹿市立平田野中学校	

小学生の税に関する習字

鈴鹿税務推進協議会長賞

加太小 五年 坂 璃乃
教租 育税

亀山市立加太小学校
5年 坂 璃乃

鈴鹿税務連絡協議会長賞

六小 三年 三根 真理菜
教租 育税

亀山市立亀山東小学校
6年 三根 真理菜

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

白子小 六年 内田 陽介
教租 育税

鈴鹿市立白子小学校
6年 内田 陽介

金賞

六年 野間 菜那
教租 育税

亀山市立亀山東小学校
6年 野間 菜那

川崎小 六年 上地 朱海
教租 育税

亀山市立川崎小学校
6年 上地 朱海

銀賞

河曲小 六年 山元 瑞季
教租 育税

鈴鹿市立河曲小学校
6年 山元 瑞季

昼生小 六年 宮村 仁史希
教租 育税

亀山市立昼生小学校
6年 宮村 仁史希

銅賞

神戸小 五年 白藤 優
教租 育税

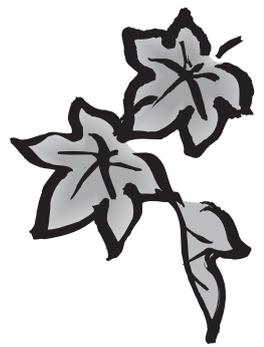
鈴鹿市立神戸小学校
5年 白藤 優

庄野小 五年 鹿間 柚花
教租 育税

鈴鹿市立庄野小学校
5年 鹿間 柚花

井田川小 五年 秋岡 なお
教租 育税

亀山市立井田川小学校
5年 秋岡 なお



佳作

飯野小 五年 末松 優実
教租 育税

鈴鹿市立飯野小学校
5年 末松 優実

桜島小 六年 澤 ことみ
教租 育税

鈴鹿市立桜島小学校
6年 澤 ことみ

庄内小 六年 曾我 明日香
教租 育税

鈴鹿市立庄内小学校
6年 曾我 明日香

井田川小 五年 加藤 瞳瑠
教租 育税

亀山市立井田川小学校
5年 加藤 瞳瑠

中学生の税の標語

鈴鹿税務推進協議会長賞

亀山市立中部中学校 1年 田中 日菜

立ち止まり 税金のやくめ 考えて

鈴鹿税務連絡協議会長賞

亀山市立亀山中学校 1年 豊田 拓也

みなさんの 税への意識 たかめたい

三重県間税会連合会長賞

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 渡邊 瑠海

税金で 未来を描く 子どもたち

鈴鹿間税会長賞

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 嶋田 拓馬

この町を 明るく照らそう 税金で

金賞

税金は 輝く未来の 光の種

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 黒田 凜子

銀賞

消費税 自分もできる 町づくり

鈴鹿市立平田野中学校 1年 煙ヶ谷 彩花

税金 なくて困るのは 未来の自分

鈴鹿市立白子中学校 1年 市川 未来

銅賞

税金は いつか自分の 役に立つ

鈴鹿市立創徳中学校 1年 太田 瑠伊

消費税 はらって社会に こうけんた

鈴鹿市立平田野中学校 1年 鈴木 健太郎

税金を きっちり納めて 人助け

亀山市立亀山中学校 1年 コスタチャリー

佳作

税が あるから 道がある

鈴鹿市立創徳中学校 1年 中埜 陽湧

消費税 8%でも 笑顔は100%!

鈴鹿市立創徳中学校 1年 宮本 萌里

税金は 思っているより 大切です

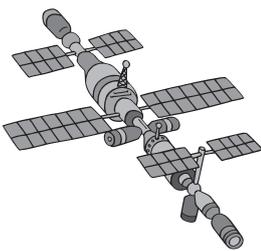
鈴鹿市立創徳中学校 1年 秋田 美蘭

税金を だせば自分にかえってくる

鈴鹿市立平田野中学校 1年 石畑 フィオナ

「払わない」? 払った方が お得です

鈴鹿市立白子中学校 1年 川満 萌



小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿市立桜島小学校
6年 岡本 桃佳

鈴鹿税務連絡協議会長賞



亀山市立神辺小学校
4年 西川 智稀

鈴鹿税務推進協議会長賞



亀山市立井田川小学校
5年 速水 萌花

公益社団法人鈴鹿法人会女性部会長賞



亀山市立関小学校
4年 落合 稀子

公益社団法人鈴鹿法人会会長賞

金賞



亀山市立井田川小学校
4年 内田 遥登



鈴鹿市立桜島小学校
6年 岡田 彩良

小学生の絵はがきコンクール

銀賞



鈴鹿市立明生小学校
6年 久長 祥子



亀山市立立川崎小学校
4年 伊藤 汐花

銅賞



亀山市立神辺小学校
4年 藤澤 千里



亀山市立井田川小学校
4年 早川えみり



鈴鹿市立桜島小学校
6年 森 穂乃香

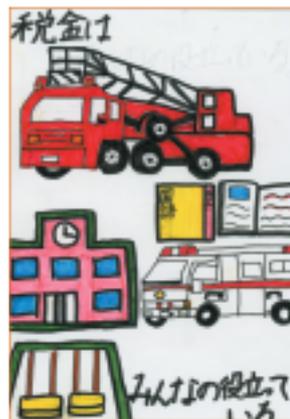
佳作



亀山市立亀山東小学校
4年 大田 健慎



鈴鹿市立桜島小学校
6年 太田 匠海



鈴鹿市立玉垣小学校
4年 サンチェス きよみ



亀山市立井田川小学校
6年 稲垣 日那